

感動いっぱい 夢いっぱい

平成29年12月8日 No.27

「むし」やめて ぼくの心が かなしいよ

6月の人権週間で応募した、4年生の平松慶大さんの標語が、**岡山県教育委員会教育長賞**に選ばれました。心の中に感じている人権を大切にする気持ちを、素直に表現した標語です。柳小29名みんなが、「**よりなかよしになるように**」という思いが伝わってきます。

12月4日(月)～8日(金)は校内人権週間です。教育相談や人権についての読み聞かせや授業を各クラスで行います。また、21日(木)には、目に障がいがある人や盲導犬のことを理解するために、**盲導犬キャラバンの学習**をします。

船穂公民館には、人権に関する標語や絵・習字が展示してあります。10日(日)までとなりました。ぜひ、足をお運び下さい。

月曜日の全校朝礼では、「許し合う心」について話しました。

昨年の夏のリオデジャネイロオリンピック。陸上の女子5000m予選での出来事です。

レースの中頃、競り合っていたニュージーランドの選手とアメリカの選手の足が交差しました。そのせいで、2人の選手が転倒しました。先に立ち上がったアメリカの選手は、走るのかなと思っていたら、転倒しているニュージーランドの選手を抱き起こし、最後まで走ろうと励ましました。

2人はしばらく走っていましたが、今度は励ましたアメリカの選手がうずくまってしまいました。転倒で足を負傷していたのです。それを見た、ニュージーランドの選手は戻ってきて、抱き起こしました。そして手をさしのべて一緒に走り出したのです。

2人は、結局、最後から1番2番。しかし、ゴールした後2人が抱き合う姿に、会場中が大きな拍手に包まれました。



大舞台のオリンピック。きっと2人とも、国の代表になるために、また記録をだすために、たくさんの練習をしてきたはずです。だから、転倒はショックだったでしょう。メダルが欲しかったにちがひありません。

スポーツで、相手を非難し合う場面を見ることがありますが、転倒してメダルが取れないと分かっても、この2人からは相手を非難する言葉は全くありませんでした。倒れた相手は大丈夫かと心配して、気遣う行動しかありませんでした。とっさに出た行動ですから、日頃から、仲間を励まし合ったり助け合ったりして、競争する相手を敬いながら練習していた様子がうかがえました。

どうですか。私たちの生活に目を向けてみましょう。自分の思い通りにいかなかったら、友だちのせいにしたり、友だちが失敗したら、腹を立てたりしたことはありませんか。相手を許せない気持ちをずっともっていたことはありませんか。

私たちは、友だちや家族や、みんなと生きています。みんなと関わりながら助け合いながら生活しています。決して一人で生きているわけではありません。失敗して相手に迷惑をかけることもあります。すぐに「ごめんなさい。」と謝ったり、「大丈夫だよ。気にしないで」と相手を許せたりする人は、すばらしいですね。「**許し合う心**」は、相手のことを本当に大切に思う心のことです。

アメリカとニュージーランドの選手は、その素晴らしい行動が評価され、特別に決勝レースへの参加が認められました。



この前の学芸会の劇では、よくないことをしていたジョンや先生達を、反省した後にみんなが手を取り助けおこす場面がありました。セリフはありませんでしたが、「分かったよ。もういいんだよ。これからはみんなで作っていこうね。」という言葉が先生の心に聞こえてきました。先生の**一番好きな場面**です。

人権週間作品展

船穂公民館内に、展示してあります。



南山城跡見学：高学年

- 城壁は六角形みたいな形で、敵と戦いやすいようなつくりになっていました。これだけでなく、曲輪というので、山の斜面を削り平らにしたところで城兵が敵に備えたり、土塁といい曲輪の回りに土を盛って作り敵の攻撃から守ったり、さまざまな工夫がされていました。(6年 M・R)
- 城までの道は攻めにくい工夫がされていました。畑をうねのようにして動きやすくしたり、L字の形の道にして上から守りやすくしたりするなどたくさんの工夫がされてありました。

また、採掘された土器なども見せてもらいました。岡山にしかない形の土器もあり、地域によって形が違うことにビックリしました。(5年 M・Y)



クラブの様子から 12月7日(木)

7日のクラブは、運動クラブ・文化クラブに分かれての活動でした。

運動クラブは、体育館で**ユニホック**。文化クラブは、少年自然の家の先生から、**弓矢**の作り方を教えてもらいました。



初めての人も、とても楽しみました。氷の上ではありませんが、「スマイルジャパン」です。パスがとおった時、シュートが入った時の **気分は最高!**

佐藤先生・土屋先生に教えてもらいました。作っている時から、的に射る時まで、**ワクワク・ドキドキ**が止まりませんでした。



大きな金時人参に育ちますように!



雑草取りと、土よせです。茎の回りに土をかけ、葉をたて上に伸びるようにしました。

原田さんから「**よろしい!**」と言われたら合格です。何回も、やり直している人もいましたね。細かなところまでいいいにするこ、心を込めてすることを、金時人参作りから学んでいます。

翌日、畑に行ってみると、畝の間に肥料がまいてありました。原田さんありがとうございます。